

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

弁護人横山茂樹の上告趣意第一点は、違憲をいうが、所論の道路運送法の各規定が、所論の憲法の規定に違反するものでないことは、当裁判所の判例（昭和三五年（あ）第二八五四号同三八年一二月四日大法廷判決、刑集一七卷一二号二四三四頁）の趣旨にてらし明らかであるから、論旨はとることができない。同第二点は、違憲をいう点もあるが、実質は単なる法令違反の主張であり、同第三点は、量刑不当の主張であつて、刑訴法四〇五条の上告理由に当たらない。

また、記録を調べても同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて、同四〇八条により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり判決する。

昭和四一年五月三日

最高裁判所第三小法廷

| | | | | | |
|--------|---|---|---|---|---|
| 裁判長裁判官 | 五 | 鬼 | 上 | 堅 | 磐 |
| 裁判官 | 横 | | 田 | 正 | 俊 |
| 裁判官 | 柏 | | 原 | 語 | 六 |
| 裁判官 | 田 | | 中 | 二 | 郎 |
| 裁判官 | 下 | | 村 | 三 | 郎 |